

施策評価調書 目標年度(27年度)実績

施策コード Ⅲ-4-(2)

政策体系	施策名	地域生活交通システムの形成	所管部局名	土木建築部、企画振興部	長期総合計画(プラン2005)頁	137
	政策名	交通ネットワークの充実と地域交通対策の推進	関係部局名	土木建築部、企画振興部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	地域の生活を支える道づくりの推進	都市圏域の交通円滑化の推進	地域公共交通の維持・充実

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		27年度			目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績	達成度	25	50	75	100	125							
i	各市町村の中心部まで概ね30分で到達できる地域(面積)の割合(%)	①	H16	74	77	77	100.0%												
ii	救命救急センターに概ね60分で到達できる地域(面積)の割合(%)	①	H16	64	82	80	97.6%												
iii	渋滞対策が必要な箇所数(箇所)	②	H16	22	5	5	100.0%												
iv	公共交通機関(バス)の利用者数(万人/年)	③	H16	2,178	1,990 (H26)	2,006 (H26)	100.8%												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価		理 由 等	平均評価
i	達成	東九州自動車道等をはじめとした広域交通ネットワークや、隣接地域間の連携・交流を支える国県道の整備が進められたため、目標値を達成した。	達成
ii	概ね達成	東九州自動車道等をはじめとした広域交通ネットワークの整備により、救命救急センターまでの時間が短縮される道路整備が進められたため、目標値を概ね達成した。	
iii	達成	都市圏域の渋滞対策として、道路整備を推進し交通の円滑化が図られたため、目標値を達成した。	
iv	達成	日常生活に欠かせない広域的・幹線的な民間路線バスや市町村が運行するコミュニティバス等に対して運行経費の助成を行うとともに、公共交通の利便性向上や利用促進施策に取り組むことにより、地域における生活交通の確保が図られたため、目標値を達成した。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・主要地方道別府挾間線(浜脇2工区)等57箇所17.0km(部分開通含む)が開通したことで、隣接地域間のアクセスが向上した。
②	・大分駅付近連続立体交差事業により、日豊本線の踏切10箇所、久大本線の踏切3箇所を除去し、踏切待ちによる渋滞が解消された。
③	・地域交通のマスタープランである地域公共交通網形成計画を、関係市やバス事業者と連携しながら大分北部地域、豊肥地域で策定し、幹線バス路線等の維持・確保・改善を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価
			総合評価
①	道路改良事業	4,291,100	—
③	生活交通路線支援事業	94,446	A

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○連合大分「2015予算編成に関わる要請」(H27.10)</p> <p>・交通シビル・ミニマム(生活基盤最低保障基準)維持の観点から、国や県で取り組む旧市町村をまたぐバス路線への負担基準の引き下げを行うと共に、県民生活に必要な不可欠な地域公共交通に対して助成を行い、路線を維持・確保すること。</p> <p>○大分県政共闘会議「2015年度県当初予算に関する要求」(H27.11)</p> <p>・高齢化が進行する中で、公共交通の利用状況の実態を把握し、移動弱者対策を講じること。</p>	<p>○自由民主党大分県支部連合会「平成28年度県政予算等に関する要望」(H28.1)</p> <p>・地域生活者の生活利便性の向上ひいては地域社会の維持・発展のために、コミュニティバス・乗合タクシーの導入や維持・確保に対する更なる支援をお願いする。</p>
--	---

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	成果と今後の施策展開
A	<p>・これまでに市町村相互や合併新市中心と旧町村中心部を結ぶ道路整備を推進したことによって、県内各地域間の連携・交流や救急医療活動などの充実が図られた。引き続き、産業や生活を支える地域ネットワークの整備を推進する。</p> <p>・都市圏域の交通円滑化について、大分駅付近連続立体交差事業の完成により、踏切遮断による渋滞の解消が進んだ。引き続き(都)庄の原佐野線や国道197号鶴崎拡幅などの整備を進め、交通渋滞対策等に取り組んでいく。</p> <p>・地域交通のマスタープランである地域公共交通網形成計画を、関係市やバス事業者と連携しながら大分北部地域、豊肥地域で策定し、幹線バス路線等の維持・確保・改善を図った。今後は、県内各地域(県南部、県西部、県東部)で策定を行う。</p>